

重点戦略③ 未来への種まき

「未来への種まき」について



総合企画本部 経営企画部
事業ポートフォリオ戦略 担当課長
山路 健太郎

私たちは経営理念にも掲げる「挑戦」と「共創」を実践し、「未来への種まき」に積極的に取り組みます。

この戦略は大きく2つの取り組みに分かれています。

■ 1つ目「新たな事業機会の創出」

未来におけるJR九州グループの競争力強化を考える際に、現状維持にとどまらず新たな事業機会に挑戦することは必要不可欠です。私たちはこれまでも祖業である鉄道を基盤として数多くの新規事業に挑戦し、現在の事業ポートフォリオに成長させてまいりました。適切なリスクテイクを経ながら、挑戦するスタイルは私たちの大切なDNAとして、これからも受け継いでいきます。

取り組む手法については、自前でビジネスを興すほかにも、「共創」がキーワードだと考えます。既存事業の拡大・効率化及び新規領域への挑戦に資する、技術・サービスを有した新興企業・スタートアップとの共創に積極的に取り組んでまいります。この取り組みを加速させるため、VC（ベンチャーキャピタル）への出資等を通じた連携強化を行うとともに組織の強化なども進めます。

■ 2つ目「レジリエンスの強化」

レジリエンス、すなわち外部環境の変化や予期せぬリスクに対して柔軟に対応し持続的な成長につなげる回復力や適応力を養うことは目下の経営課題です。

新型コロナウイルス感染拡大時には、人流に依存したビジネスに極めて深刻な影響が出ました。これらの教訓を踏まえ、今後の外部環境の変化への対応力を養うことが「未来への種まき」の重要な命題です。この観点から、当社では人流に依存しないビジネス、特に建設事業などのBtoBビジネスにおいてもM&A等を通じて積極的に拡大・強化を図ります。

先行きが見通せない未来ゆえに種まきの難易度は高いですが、駅・沿線そしてJR九州に関わる皆さまが元気になり、九州がわくわくする地域として選ばれる場所になるために、安全とお客さま視点に立ち戻り、企業価値向上に挑み続けてまいります。また、「経済的な価値と社会的な価値を追求して世の中の役に立ち続ける」この最先端のやり方を九州から発信し、「このまちにJR九州がいて良かった」と感じていただけるような貢献を重ねてまいります。

「未来への種まき」これまでの取り組み事例

■ M&Aによる挑戦

当社は積極的にM&Aを通じて事業ポートフォリオの最適化を図っています。

九州には、優れたビジネスやブランド・ノウハウを持ちながらも、事業承継の課題を抱える企業が少なくありません。この課題に寄り添い、JR九州グループがお力添えをさせていただくことで事業の永続だけでなく、事業シナジーを生み付加価値を付け、進化に弾みを付けるM&Aを推進してまいります。

なお、M&Aの重要なポイントは、PMI（Post Merger Integration、M&A後の統合）です。互いの業務や文化を融合させ、相乗効果を最大化させていくことがなくては「未来への種まき」から花は咲きません。経営戦略の策定や、組織管理に長け、高いコミュニケーション能力を備える人材を育成します。また、戦略的出向や、経営人材候補者研修などにも注力してまいります。

<M&Aの取り組み事例>



■ VCへのLP投資を通じた新規事業

例：DRONE FUNDへの出資

- ドローン技術の活用による鉄道事業の効率化
- 空飛ぶクルマ等の新規事業の創出
- 業界知識の取得やネットワーク獲得



■ スタートアップ等との共創

例：㈱findとの連携

- 落とし物関係業務のDX



重点戦略③ 未来への種まき

「未来への種まき」の具体的な取り組み事例

「新たな事業機会の創出」と「レジリエンスの強化」の達成に向けて、多様な観点から事業に取り組み、“わくわく”するときをつくるための挑戦を推進してまいります。

革新

技術・ビジネスモデル

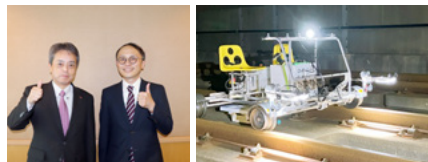
既存

既存事業の改善・改革

DX等によりトップライン改善やコストダウン、働き方改革を目指す

■ AI技術を活用した 鉄道保守点検のDX

鉄道事業における省力・省人化プロジェクトの開発強化のためTokyo Artisan Intelligence(株)と協業



■ インバウンド向け ラグジュアリーな旅体験

当社のネットワークを活かし、九州の人・風景・文化を編み、海外の富裕層に対して九州の新たな旅を提案



Private Travel Service
JR KYUSHU

新たな事業機会の創出

新興企業との協業等により、新しい価値を共創していく

■ でんきの駅

再生可能エネルギーの大量導入を見据えた系統用蓄電事業



■ 空飛ぶクルマ事業

事業の可能性検討のため(株)SkyDriveと資本業務提携を締結



■ NFT

鉄道の魅力を伝えるデジタルコンテンツや、旅や移動の体験価値を高めるデジタル施策



既存事業の維持

安全を最優先し、誠実に手間を惜しまず安心で快適な毎日をつくる

運輸サービス



不動産
ホテル



流通・外食



建設



ビジネス
サービス



レジリエンスの強化

M&Aやアライアンスを通じて、BtoB、BtoG市場への拡大を狙う

■ 跨線道路橋の 包括的維持管理

北九州市と連携し、社会インフラを維持管理



■ 百年ソーラー九州事業

九州の中小型太陽光発電所を取得・集約し、カーボンニュートラル達成に貢献



■ ファンドビジネス

地域特化型ファンドを通じて事業承継等のニーズに貢献



既存

当社が展開するビジネスの対象市場

新規